

## 古屋拉致問題担当大臣記者会見要旨

日時：平成25年11月5日（火） 8:57～9:00

場所：合同庁舎第2号館18階第4会議室

### 1. 発言要旨

私からは、台風26号に関する激甚災害の指定にかかる閣議決定について御報告を申し上げます。15日、16日に台風26号、大島町に甚大な被害をもたらしました。また、多くの皆さまが犠牲になってしまいました。改めて御冥福とお見舞いを申し上げるとともに、今日、農地の復旧、そして中小企業の助成措置にかかわる特別措置を適用する激甚災害、いわゆる局激、この政令を閣議決定させていただきました。

この上は、激甚災害指定を活用していただいて、復旧にしっかり取り組んでいただきたいと思えますし、また、まだ6名の方が行方不明でございますので、関係者におかれましては、行方不明者の捜索を徹底していただきたいということを改めて申し上げたいと思えます。私からは以上であります。

### 2. 質疑応答

（問）共同通信の江藤です。

アントニオ猪木参議院議員が再び訪朝しました。参議院議院運営委員会は不許可を決定してしまっていて、異例の強行訪朝になってしまっていて、与野党からも批判が出ています。大臣はどのようなふうに御覧になっていらっしゃいますか。

（答）やはり海外の出張というのは衆議院でも参議院でもそういうルールがありまして、それに基づいて皆さん国会議員の皆さん、もちろん我々閣僚も対応しているわけでありまして、これは参議院の議員運営委員会で決定していただくことでございますけれども、やはりすべて国会議員にかかわらず、社会で活動されている皆さんはやはりルールを守るといのは非常に大切なことです。やはり信頼関係というのがありますから、そう思います。

あとは訪朝されて、テレビでいろいろ報道は聞いておりますけれども、帰国をされたら会見するということをおられるので、私もどんな会見をするかしっかり見てみたいと思えます。

（問）関連して、対北朝鮮に対して、一枚岩で対応するというのが一つの重要なポイントだと思うんですけども、誤ったメッセージが国際的に伝わる可能性というのとは。

（答）これは政府の方針はもう揺るぎない方針ですから、それは海外にはしっかり私たちの考え方、これは安倍総理御自身が首脳と会ったときに、常にこの問題はお話ししてありますよね。ですから、我々政府の考え方はしっかり伝わっていると思えます。

（問）今おっしゃった、「伝わっている」というのは、国際社会に対してという。

（答）国際社会に対してもです。

（以 上）